

北大ブランド活用の取り組み—研究成果から生まれた商品

地域の企業と連携し、本学の研究成果や本学の特徴を生かした商品の企画・開発を積極的に進め、「北大ブランド」として認定しています。2017年11月に本学内に誘致したレストラン「北大マルシェCafé & Labo」には、北大産の牛乳や農産物を使った商品が数多く並び、お土産品としても好評です。

また、2016年度に実施した北大ブランド使用実績調査、契約条件見直し等による商品増加により、近年販売額が大きく増加しました。機内誌に掲載されるなどメディアでの情報発信も活発化し、今後も一層の販売拡大が期待されています。

無塩パン

一般的な食パンは、無意識のうちに塩分を取り過ぎてしまう場合があります。北海道大学COI『食と健康の達人』拠点*では、北大病院栄養管理部が考案した塩分ゼロでもおいしい無塩パンのレシピをもとに、「SALTO(そるとぜろ)食パン」を商品化しました。

北海道産小麦(岩見沢産キタノカオリ)と北海道産全粒粉を使用し、小麦の甘味をしっかりと感じられる食パンです。塩分を気にされる方も、そうでない方も一緒においしく食べられるようにと考案されました。

2020年から岩見沢市の洋菓子店「patisserie soraka」と北大正門前のインフォメーションセンター「エルムの森」のショップで販売しています。



SALTO食パン

*北海道大学COI『食と健康の達人』拠点

文部科学省および国立研究開発法人科学技術振興機構による「革新的なイノベーション創出プログラム」(COI STREAM)に採択され、本学が筑波大学、北里大学、30社を超える企業・機関とともに設立。一人ひとりの健康状態にあわせた最適な「食と運動」により「女性、子どもと高齢者にやさしい社会」の実現を目指しています。

北大ガゴメのサプリメント

北大発ベンチャー企業・北海道マリンイノベーション(株)、水産科学研究院、(株)ゴーゴーの連携により、「北大ガゴメ」ブランド群から2020年に新商品が誕生しました。北大ガゴメを使用したサプリメント「ネバ勝ち!」です。

北大ガゴメは水産科学研究院が独自の海洋栽培技術で開発・養殖したガゴメコンブで、天然ガゴメより粘り成分フコイダンが2倍以上含まれ、健康補助食品などの開発が進んでいます。「ネバ勝ち!」は北大ガゴメが主成分で、フコイダンのほか亜鉛やビタミン、乳酸菌などの成分が豊富であり、(株)ゴーゴーの公式サイトで販売を行っています。



健康維持サポートサプリ「ネバ勝ち!」

北大農場産リンゴの加工品

北方生物圏フィールド科学センター生物生産研究農場余市果樹園では、実習教育や研究のため、さまざまな果物を生産しています。特にリンゴは20品種以上を栽培。2020年は余市果樹園で収穫したリンゴを使った商品が2つ誕生しました。

1つは北海道大学COI『食と健康の達人』拠点のプロジェクトから生まれたリンゴジュース「なまらりんご」。ふじの品種のみを使い、酸味が少なく、果物本来の甘さが引き立つ果汁100%・無添加のジュースです。

もう1つは、ほどよい酸味で製菓材料などに向く紅玉の品種を丸ごと使用した「北大まるごと焼きりんご」。「エルムの森」内「カフェdeごはん」にて提供していました。

今後も北大ブランドを通じて、北方生物圏フィールド科学センターの生産物の効果的な活用を目指します。



なまらりんご 北大まるごと焼きりんご

FINANCIAL REPORT 2021

運営・財務データ

持続的な成長の基盤を強化

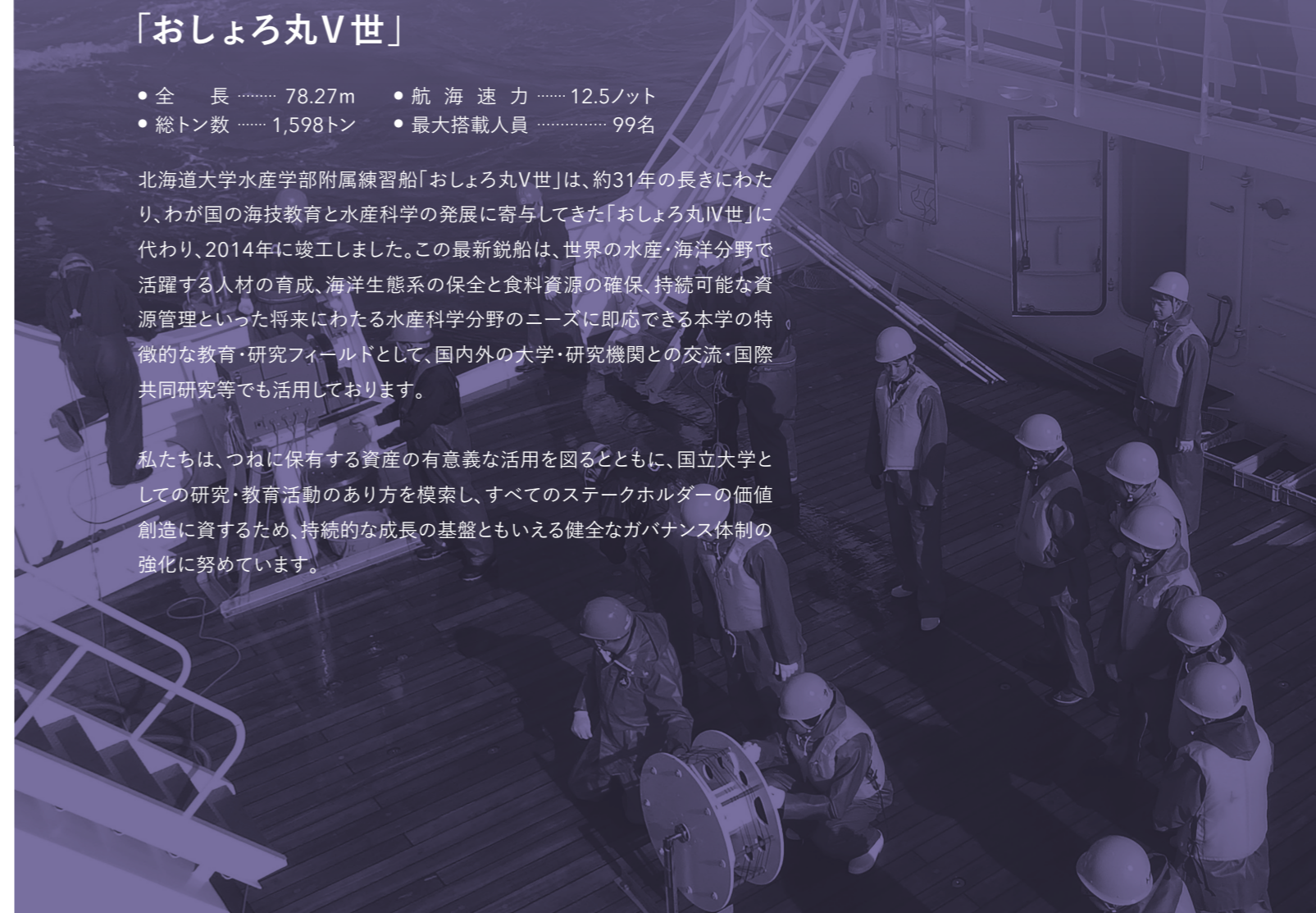


水産学部附属練習船「おしよろ丸V世」

- 全長 …… 78.27m
- 航海速度 …… 12.5ノット
- 総トン数 …… 1,598トン
- 最大搭載人員 …… 99名

北海道大学水産学部附属練習船「おしよろ丸V世」は、約31年の長きにわたり、わが国の海技教育と水産科学の発展に寄与してきた「おしよろ丸IV世」に代わり、2014年に竣工しました。この最新鋭船は、世界の水産・海洋分野で活躍する人材の育成、海洋生態系の保全と食料資源の確保、持続可能な資源管理といった将来にわたる水産科学分野のニーズに即応できる本学の特徴的な教育・研究フィールドとして、国内外の大学・研究機関との交流・国際共同研究等でも活用しております。

私たちは、つねに保有する資産の有意義な活用を図るとともに、国立大学としての研究・教育活動のあり方を模索し、すべてのステークホルダーの価値創造に資するため、持続的な成長の基盤ともいえる健全なガバナンス体制の強化に努めています。

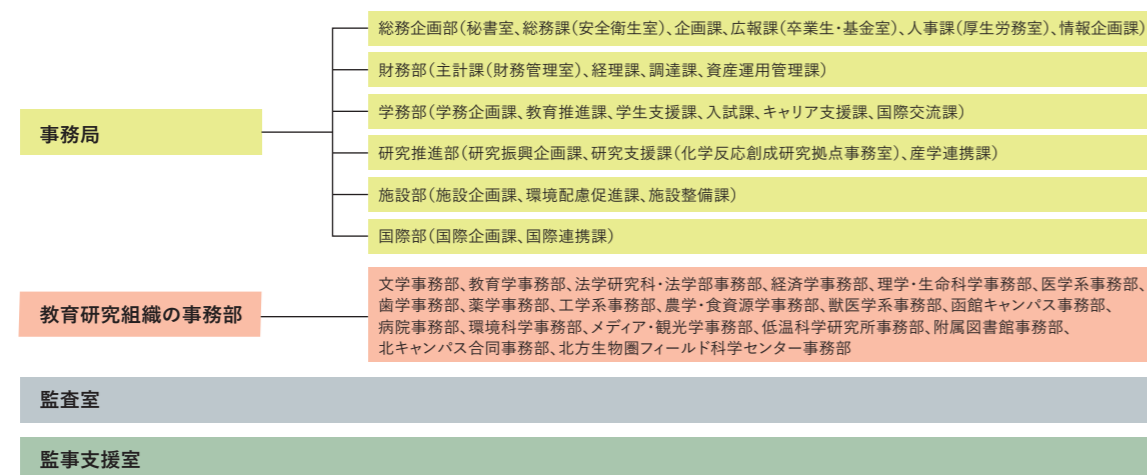


ガバナンス体制

運営組織図 2021年8月1日現在



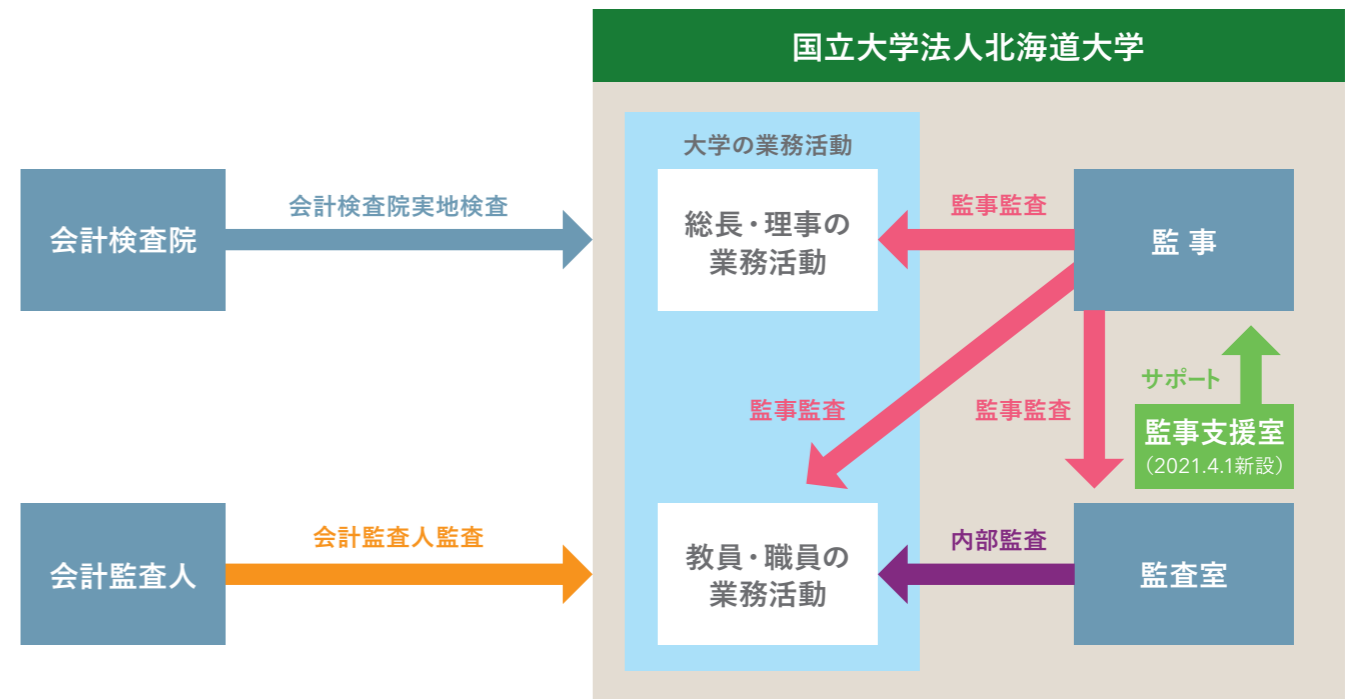
事務組織図 2021年4月1日現在



監査体制

本学の監査体制は以下のとおりです。

■北海道大学における監査体制



1 監事監査

監事監査は、本学の業務の合理的かつ効率的な運営を図るとともに、会計経理の適正を期することを目的としています。

国立大学法人北海道大学監事監査規程を踏まえ、適法性、効率性、有効性の他、適時性の観点に、大学全体のガバナンスといった視点を加えて、業務監査および会計監査を実施します。

監事の業務をサポートし、監事機能を強化する目的で監事支援室を2021年4月1日に設置しました。

2 内部監査

内部監査は、本学の健全な運営を確保することを目的として監査室が実施します。

本学の運営諸活動の遂行状況を検討および評価し、情報の提供や、業務の改善・合理化のための助言や提案を行います。

監査室では、日常的監査、ガイドライン対象経費監査、重点監査のほか、内部統制システムモニタリング調査やその他監査を実施します。

3 会計監査人監査

会計監査人監査は、文部科学大臣が選任した会計監査人により実施されるものです。

本学を含む国立大学法人は、国立大学法人法(第35条において準用する独立行政法人通則法第39条)により、財務諸表等の監査を受けることが義務付けられています。